

大阪環状線・JRゆめ咲線列車の 実質再生可能エネルギー由来電力 100%化に着手

JR西日本は、関西電力株式会社（以下、関西電力）と当社専用の太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー由来電力（以下、再エネ電力）の供給を受けるオフサイトPPA*を締結することとしました。併せて、関西電力を通じて調達する非化石証書を活用することで、2023年度中に大阪環状線およびJRゆめ咲線の列車運転用電力を、実質的に再エネ電力100%化します。

当社グループは、環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定し、2050年にJR西日本グループ全体のCO₂排出量「実質ゼロ」をめざしています。本件は、その目標達成に向けた取り組みの一つです。

今後も、環境長期目標達成に向け、様々な取り組みを進めてまいります。

※PPA：Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略称

1. 供給対象場所

大阪環状線およびJRゆめ咲線の変電所

2. 再エネ電力導入量

大阪環状線・JRゆめ咲線の列車運転用電力 100%

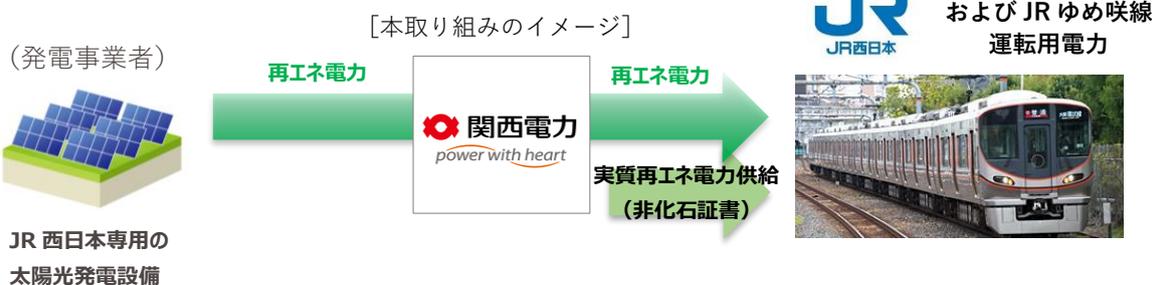
3. CO₂排出削減量

2023年度末時点で、年間約32,000t*（約1万世帯分）のCO₂排出量が削減される予定です。

※2021年度電気事業者別排出係数の全国平均で算出

4. 供給開始時期

2023年度中に実質再エネ電力100%とします。



今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、11番、13番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

